第2章　歴史文化資源の総合的把握

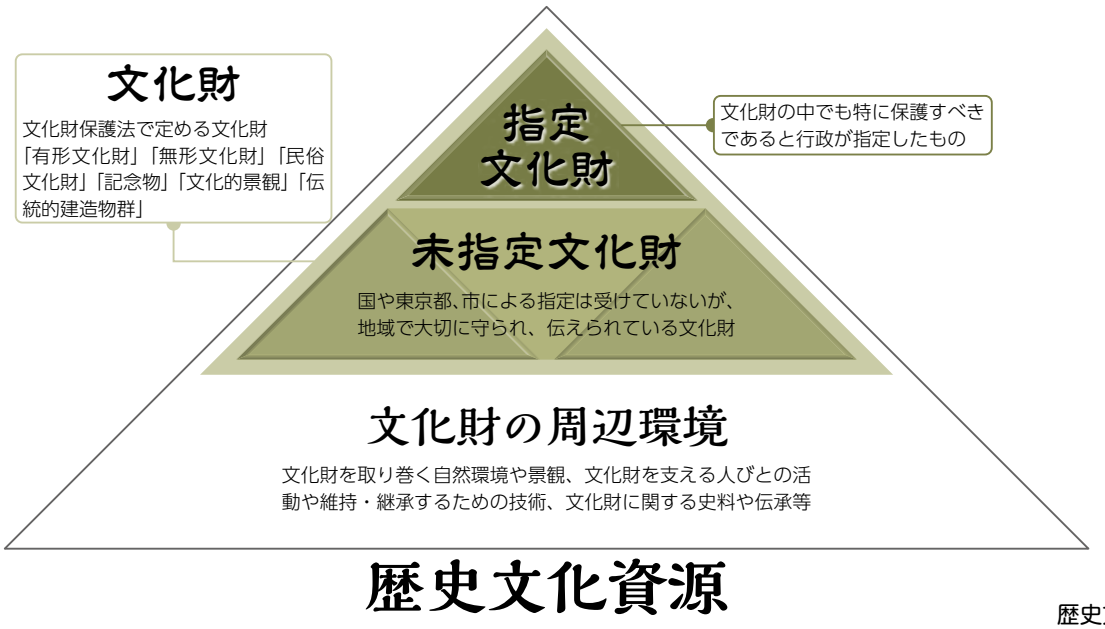
1. 歴史文化資源の総合的把握について

(1) 歴史文化資源の考え方

これまでの文化財行政は、文化財として価値の高いものを類型ごとに指定し、保存の措置をとることが中心でした。しかし、これからは、文化財単体ではなく周辺環境も含めて幅広く捉えた「歴史文化資源」として一体的に価値を認識し、保存はもとより積極的に活用していくことで、地域の魅力や活力の向上につなげることが期待されています。本市では歴史文化資源を次のように考えます。

歴史文化資源の考え方

- ●文化財は、指定文化財に限らず、未指定のものも含めて文化財として捉える。
- ●文化財とそれに関わる自然環境や歴史的環境を背景に、人々の営みの中で生まれたモノやコト、人物など、文化財の周辺環境も含めて歴史文化資源と捉える。
- ●人々が、誇りに思い、大切に思い受け継いできたものだけでなく、比較的最近の文化であっても、未来に伝えていきたいと願うものも、歴史文化資源と捉える。



歴史文化資源のイメージ

（2） 歴史文化資源の把握の方針

歴史文化基本構想を策定する上で、本市の歴史文化資源を網羅的に把握し、それぞれが歴史的・文化的にどのような意味を持っているのか、また、そのほかの歴史文化資源との関係性を把握し分析することは、とても大切なことです。

本構想では、これまで取り組んできた文化財保護行政や歴史研究など、調査・研究の成果や、市民からの聞き取り調査などにより、歴史文化資源の総合的な把握を行いました。しかし、市内の歴史文化資源を完全に把握するためには、構想策定後も調査を継続していくことが必要です。

また、構想策定のために把握した歴史文化資源を、これまでの文化財保護の類型（有形・無形・民俗・記念物・文化的景観・伝統的建造物群）に捉われず、市民がイメージしやすい分類で整理することが必要と考え、細かな分類を設定しました（表：歴史文化資源の分類）。モノやコトだけでなく、人物や記録も含み、未来につながる歴史文化として現代の文化的な資源も歴史文化資源と捉えて把握することとしました。

歴史文化資源の分類

分類	内容
地形・地質	峡谷や谷戸、岩石や地層の状態で特徴的なもの
河川・湧水	市内の河川と湧水、地域で親しまれる水辺
山地・丘陵	市内の山や丘陵、山並みに関連する地勢など
気候・風土	市全域及び地域的に特徴的な気候や風土
植生・植物	特徴的な植生や象徴的な花などの植物、巨樹や銘木
動物	地域を象徴する動物や関わりの深い動物（分布）
道・鉄道	旧道や古道など、古くからある道や鉄道
街路	愛称がつけられている通り
景観	風景や眺望、まちなみ、景観上優れた建造物など
公園	地域に親しまれている公園などの広場
遺跡	化石や遺構・遺物の発見・発掘地
城跡・城館跡	城跡や城館跡
古民家・屋敷	歴史的な建造物
旧跡	歴史的な事物があった場所
寺社	伝統行事や地域の歴史を特徴づける宗教施設
墓	市内に所在する、歴史上の人物や著名人の墓
石仏・石塔	石仏や仏塔・供養塔、寺社にまつわる構造物など
道標・石碑・記念碑	道や土地柄などを表すもの
近代化遺産	近代化の痕跡が残る建造物や場所
戦跡	近代以降の戦争に関わる戦争遺跡
考古・古生物資料等	市所蔵や市内出土の遺物や化石、動植物標本など
美術品・工芸品	芸術的に価値の高い歴史資料
刀剣	下原刀をはじめとした、市内所在の刀剣
民具	主に生業にまつわる道具

分類	内容
祭礼・芸能用具	祭礼や伝統芸能などに用いる道具
その他民俗資料	民具、祭礼・芸能用具に含まれない民俗資料
人物	各分野で事績を残した、八王子にゆかりのある人物
祭礼・祭り	寺社や地域で古くから行われるお祭り
伝統芸能	伝承されている、またはされていた芸能
民謡・歌	地域で伝承される唄
民間信仰	土着の信仰やまじないなど
生業・伝統工芸・技術	伝統工芸や産業・生業にまつわる技術、手仕事など
伝統食	地域に伝わる伝統料理や食材など
方言	地域固有の表現や言い回し
歴史的事象等	地域に伝わる歴史的事象など
文献資料	古文書などの文字資料
絵図	近世以前に作られた地図・図面類
民話・伝説・昔話	地域に語り継がれている民話や伝説、昔話
写真	幕末から近代以降の当時を物語る写真
地図	近代以降に作られた地図類
地名・字名	地勢や土地の特徴を表す地名
文化団体	歴史文化資源の保存・活用に関する活動を行う団体
歴史文化施設	歴史文化資源を取り扱う施設
地域行事・諸活動	歴史文化資源の保存・活用に関する新興行事や取組
特産品	地域ならではの生産品、食品など
老舗商店・施設	近代以前から続く商号・屋号を持つ企業や店舗、施設など
その他商店・施設	特産品の取扱、地域性・独自性・特殊性の強い企業や店舗、施設など

(3) 総合的把握の方法

本市の歴史文化資源を、下図に示す作業を行うことで総合的に把握しました。さらに、地域の歴史文化資源のデータベースを作成しました。

歴史文化資源の総合的把握の流れ

★歴史文化資源の把握

①指定文化財及び歴史資料の整理
国・都・市が指定を行っている市内の指定文化財を調べ、その現状を把握するとともに、市で保管している歴史資料を整理

②既存文献からの洗い出し
『新八王子市史』をはじめ、市や学術機関、市民や民間団体等による調査・研究の成果をもとに、未指定の文化財などを把握

③市民の心に刻まれた資源
「市長と語る」アンケートや市政モニター、ヒアリングやワークショップを通した市民の声から、文化財とその周辺環境の資源を把握

↓

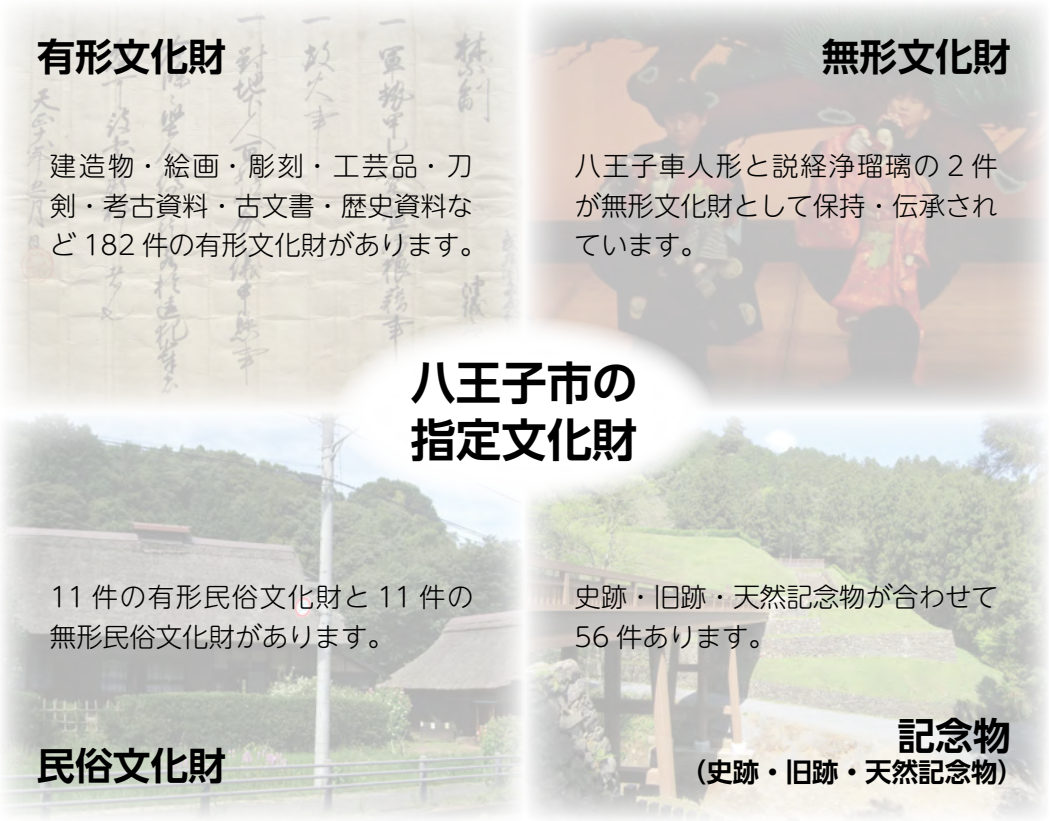
★地域の歴史文化資源データベースの作成
①～③で総合的に把握した歴史文化資源をもとに、地域の歴史文化資源をデータベース化
⇒今後、文化財の適切な保存・活用を図っていくために利用

2. 指定文化財及び歴史資料の整理

本市では、昭和 30 年（1955 年）に文化財保護条例が施行されてから現在に至るまで、文化財の保護、埋蔵文化財包蔵地における事前確認など数多くの業務を行ってきました。その結果は、文化財調査報告書や文化財年報等にまとめています。

（1） 指定文化財

希少性や学術性などの面で高い価値が認められる文化財については、国・都・市が連携して調査を行い、文化財保護法に基づく指定と保護に努めてきました。令和元年（2019 年）現在、本市に所在する国・都・市により指定した件数は、国指定文化財 9 件、都指定文化財 45 件、市指定文化財 208 件の 262 件です。これ以外にも、市内には、指定・未指定を問わず、多種多様な文化財が守られ、受け継がれています。



史跡…遺構がよく原型を保っているもの
旧跡…遺構の原型が著しく損なわれているか、遺構が完全に消滅しているもの
天然記念物…学術上貴重で八王子市の自然を記念するもの

有形文化財
建造物や絵画、工芸品、古文書など、歴史上・芸術上価値の高いものや、考古資料などの学術上価値の高い歴史資料。

無形文化財
演劇や音楽、工芸技術など、無形のもので歴史上・芸術上価値の高いもの。

民俗文化財
衣食住や生業などに関する風俗慣習や、民俗芸能、民俗技術とこれらの衣服、器具、家屋などで、生活の推移の理解のため欠くことのできないもの。

記念物
貝づかや古墳、城跡などの遺跡で歴史上・学術上価値の高いもの（史跡）、庭園や橋りょう 、峡谷などの名勝地で芸術上・観賞上価値の高いもの（名勝）、動植物やその生息地、地質や鉱物（天然記念物）で学術上価値の高いもの。

(2) 埋蔵文化財と出土品

これまでに本市では、多くの発掘調査が行われてきました。市内には「遺跡」といわれる場所が 1035 か所（令和元年〈2019 年〉現在）あり、これは東京都内で最も多い件数です。そして遺跡からは多くの遺物（出土品）も発掘されており、埋蔵文化財整理室をはじめ、東京都埋蔵文化財センター（多摩市）等で保管されています。

(3) 郷土資料館の収蔵資料

郷土資料館では、郷土資料を中心に、市史編さん事業で収集した資料なども含めて現在 21 万点以上の資料を収集・保管しています。その数は寄贈や寄託などで毎年増加しており、資料は郷土資料館のほか、旧稲荷山小学校や埋蔵文化財整理室に分散して保管しています。

3. 既存文献等による資源把握

『新八王子市史』をはじめ、これまでに市が刊行してきた歴史文化に関わる各種文献、郷土史家などが刊行した資料等から歴史文化資源を収集しました。

(1)『新八王子市史』編さん事業による刊行物

市制 100 周年を記念して編さんされた『新八王子市史』本編・資料編の計 14 冊をはじめ、事業に際して作成された刊行物から、約 2000 件の歴史文化資源を抽出しました。主な資源として、歴史を検証する上で欠かせない古文書をはじめとした有形文化財や遺跡・遺物、自然環境や動植物、民俗資料などが挙げられます。

(2) 教育委員会による刊行物

郷土資料館や文化財課をはじめとした、八王子市教育委員会刊行の報告書・図録等から、約 1700 件の歴史文化資源を抽出しました。主な資源として、指定文化財をはじめ、展示などで扱った絵図・古文書・遺跡や遺物・鉄道・刀剣などが挙げられます。

(3) 郷土史家や市民活動団体等による調査・研究

郷土史家や町会自治会、市民活動団体等が刊行した書籍や『武蔵名勝図会』などから、約 2100 件の歴史文化資源を抽出しました。主な資源として、石造物や方言、山や川などの自然環境のほか、人物などが挙げられます。

(4) その他の刊行物

市制 40 周年を記念して編さんされた『八王子市史』や『八王子景観 100 選』をはじめとした観光関連情報など、歴史文化資源との関わりが深い刊行物や関係する公的なホームページなどから、約 2600 件の歴史文化資源を収集しました。

『新八王子市史』全 14 巻

4. 市民の心に刻まれた資源

市民が本市の歴史を振り返り、日々の暮らしの中で大切に守られてきた資源と、それらを次世代へ継承していくために一人ひとりができることなどについて、様々な事業を通して挙げていただきました。

また、本構想の策定に当たり開催した「みんなで学ぶ「地域の歴史文化」発見ワークショップ」では、参加いただいたみなさんから、各地区の歴史文化資源を活用した具体的な活動などを発表していただきました。

歴史文化の未来の担い手でもある子どもたちの意見をしっかりと受け止め、子どもたちと一緒になって取組を進めることが大切です。

(1) 子ども絵画コンテスト、小・中学生作文コンテスト、歴史伝統フォーラム、子どもミライフォーラムにおける子どもたちの思い

市制 100 周年記念事業の一環として、地域の宝である「はちおうじっ子」たちが、“ ふるさと八王子 ” に対する愛着を深め、子どもたちの思いをこれからのまちづくりに活かしていくことを目的として、子ども絵画コンテストや小・中学生作文コンテスト、フォーラムが開催されました。

コンテストには市内在住の小・中学生から多くの応募があり、それらの作品には、八王子の歴史を振り返りながら未来に思いをはせ、夢や希望の実現に向けた一途な心が表現されています。

また、歴史伝統フォーラムでは、“ 歴史・伝統を次の 100 年へ ” をテーマに八王子の歴史・伝統の魅力や次世代に継承していくための方法について、中学生たちが主役となり、活発な意見交換が行われました。

子ども絵画コンテストの作品

「秋の浅川」

「八王子まつりの山車」

歴史伝統フォーラムでの中学生からの提言

未来へ活かそう
～それぞれの時代の八王子の魅力～

子どもミライフォーラムでは、子どもたちが「自然を活かした観光が盛んで楽しめるまち」など、まちづくりに関する５つの提言を発表し、提言書を市長に託しました。

これらの取組から、古くから伝わる八王子の伝統芸能や行事、豊かな自然を未来

に残していきたいという願いが子どもならではの感性で表現され、今ある八王子の魅力を自分たちが引き継いで、未来を切り拓いていこうという一人ひとりの強い意志と郷土愛を感じることができました。

(2) 子ども向け講座におけるアンケートでわかったこと

子どもたちに本市の歴史文化を知ってもらうことを目的として、毎年開催している子ども向け講座「文化財見て歩き「親子で体験！戦国の八王子城」」と「子ども手づくり甲冑（かっちゅう）教室」に参加した児童・保護者へアンケートを行いました。

参加した子どもたちは、歴史に興味がある参加者が多く、どちらのアンケートも「楽しかった」「上手にできてうれしい」といった感想が多くありました。これらの講座が本市の歴史文化に親しみや新たな興味関心を引き出し、積極的に学ぶ意欲につながっていることがわかりました。

子どもたちに八王子の歴史文化を大切にするために、自分ができることを聴いたところ、「歴史を知る」「みんなで守る」「いろいろな文化や歴史をみんなに伝える」「イベントに参加する」といった回答がありました。

子どもの回答内容から気づいたことを保護者に聴いたところ、「八王子の歴史や文化に触れる機会を増やしてあげたい」「子どもと一緒に学びたい」など、今後も八王子の歴史文化に関心を持ちたいといった感想が寄せられました。

このような体験型イベントは、参加する・知る・伝えるなどの自ら行動する動機づけになり、歴史文化の大切さや守っていかなければならないということを考えるきっかけとして有効であることがわかりました。

「親子で体験！戦国の八王子城」石垣づくりの様子

子ども手づくり甲冑教室の様子

八王子城跡ガイダンス施設

八王子城跡

子どもたちの声（子ども向け講座でのアンケート調査より、抜粋）

Q 八王子の歴史文化で、あなたがおもしろいと思うのはどのようなことですか？　なぜですか？

八王子まつりがおもしろい
- 八王子まつりのぶっつけがおもしろい
- いろいろなおみこしが見られるのでおもしろい

お城がおもしろい
- おしろあとを見てむかしはどうだったのか
- むかし八王子の山の上におしろがあったこと
- 城や武将や戦を知るのがおもしろい
- 甲冑。昔の人がこんなにむずかしいのを鉄でつくっていたことがすごい　など

ほかにも…
- カイコがつくるきぬ糸です。理由は学校でカイコをじっさいにそだてたからです。
- お寺など見るのが楽しいです。ぎもんが出てきて、調べるのが楽しいです。
- 車人形は本当の人間みたいでおもしろい

Q 八王子市の歴史や文化、できごとは、誰から教えてもらうことが多いですか？

学校の先生
- 八王子まつりのこと
- 山車や地域のお祭のこと
- 八王子城のこと

テレビ、本、ラジオ

地域の人
- かっちゅうきょうしつの先生
- みつうろこ会の人

両親、家族、おじいちゃん

Q 八王子市の歴史や文化について、大人につたえたいことやお願いしたいことはありますか？

大切にしてほしい、守ってほしい
- 八王子まつりをこのままつづけてください
- おしろあとなどをだいじに
- れきしのゆかりのある場所を残してほしいです

もっと教えてほしい
- もっとおしえてもらいたいです
- れきしの人物をもう少し教えてほしい
- 学校にうじてるくんとれきしのお話をしてくれる人がきてほしい

やってみたい
- パパやママがしらないことをおしえてあげたい
- 本丸ごてんにいきたい
- 色々昔から続けていることをボランティアとかをしておうえんしたい

Q 八王子市の歴史や文化を大切にするために、あなたはどのようなことができると思いますか？

伝える
- みんなにいろいろな文化やれきしを伝える
- もっと楽しんでもらえるために、いろんな人に伝える
- ちらしを出す

知る、学ぶ
- もっと知ること
- まずはれきしを知ることが大切だと思う

心がける
- 文かやれきしをたいせつにする
- みんなでまもる
- しげんをたいせつにする
- おとずれた場所でらくがきをしたり、ごみをすてない

参加する
- 八王子市のれきしについてのイベントに参加する
- このようなイベントや八王子のお祭をもりあげる

(3)「市長と語る」アンケートで挙げられた歴史文化資源

「市長と語る」*の参加者に「八王子の好きな風景や場所」「住んでいる地域で親しまれ受け継がれている行事や風習」についてアンケートを行いました。

アンケートでは、全体を通して「高尾山」を挙げる人が最も多く、具体的な内容として、「八王子市街の全景」「山頂からの眺望」「高尾山薬王院」「登山道の自然風景」等が挙げられ、山頂まで登りやすく、眺望や信仰などに市民が多様な魅力を感じていることがうかがえます。

また、「浅川」「湯殿川」「大栗川」「多摩川」など、近くに川のある暮らしの風景が挙げられるとともに、「川沿いのサクラ並木」「カワセミ」「ホタル」など水辺の景観が挙げられていました。さらに、「イチョウ並木」「甲州街道」といった“道”に関する回答もあり、暮らしに馴染んだ風景が本市の特徴を示すために欠かせない要素の一つとなっていることがわかりました。

「市長と語る」の様子

各開催地区共通で公園や橋、施設など、身近な風景や場所も挙げられ、暮らしと密接に関わる風景が好きな場所となっていることがアンケートを通してわかりました。

地域に受け継がれている行事では、「どんど焼き」「夏祭り」「町民祭」「盆踊り」等が挙げられ、これらの行事は、市民に親しまれながら今も大切に継承されています。

＊市長と語る
協働のまちづくりに向け、市民と市長が直接語り合う対話集会。

高尾山頂から見える富士山

イチョウ並木

(4)「市政モニターアンケート」からわかったこと

市政モニター*の方に、本市の歴史文化に対する考えや大切にしている歴史文化資源について、アンケートを通して意見を聴きました。

八王子市の歴史文化に興味がある人の割合は64.4パーセントと半数以上ですが、今後、より積極的に歴史文化資源を活用していくためには、さらにその割合を高めることが必要であると考えられます。

また、八王子を訪れる人にすすめたい場所や行事が「ある」と答えた割合は78.9パーセントあり、「高尾山」「八王子城跡」「滝山城跡」「多摩御陵（武蔵陵墓地）」「イチョウ並木」「八王子まつり」「八王子いちょう祭り」などが挙げられました。これらの場所や行事は、本市の歴史文化に深く関係する資源であるとともに、観光的視点で捉えることで、本市の魅力をアピールする資源としても受け入れられやすいことがわかりました。

さらに、歴史文化に関わるモノ・コトを保存・活用していく上で大切なことを聞いたところ、「もっと周知、PRが必要」という意見が最も多く、持続的・効果的な情報発信が重要であることがわかりました。「歴史文化について、学び、触れ合う」「次世代への継承」「地域住民とのコミュニケーション」といった回答もあり、歴史文化資源を保存し活用していくためには、皆に知ってもらい、関心を高めてもらうことが大切であることがわかりました。

＊市政モニター制度
毎年度、無作為抽出で登録した市民100名に、市政運営の課題等について、インターネットや郵送でアンケート調査を実施する制度（任期1年）。

高尾山の門前町

八王子まつりの風景

多摩御陵（武蔵陵墓地）

(5) 市民ワークショップで見つけた地域の魅力

本市の歴史文化資源は、多くの人々のこれまでの暮らしの中で生まれ、育まれ、現在まで守り伝えられてきた貴重な財産です。しかし、ライフスタイルの変化等による価値観の変化により、その資源自体が着目される機会が減少し、今後の維持・伝承が困難になることが懸念されています。

そこで、歴史文化資源を「活用」することによって各地区や市全体の魅力として伝えていくことを目指し、各地区に詳しい方や興味関心のある方の思いを聴き、歴史文化資源の維持・伝承に役立てていくため、合併前旧市町村の 10 地区を単位として、2 地区合同のワークショップを 5 回、最後に全体会を開催しました。

■ワークショップのテーマ

みんなで学ぶ「地域の歴史文化」発見ワークショップ

■ワークショップのねらい

- 地区の歴史文化資源を掘り起こし、地区を見つめなおす
- 歴史文化資源の魅力を伝えるためのアイデアを出し合う
- お互いの地区を知る（アイデアを学び合う）

■ワークショップの開催概要

	地区別					全体会
	旧八王子・恩方	川口・由井	浅川・由木	元八王子・加住	小宮・横山	
日時	平成 30 年 11 月 10 日（土） 10：00～12：30	平成 30 年 11 月 24 日（土） 10：00～12：30	平成 30 年 11 月 24 日（土） 14：00～16：30	平成 30 年 12 月 1 日（土） 10：00～12：30	平成 30 年 12 月 1 日（土） 14：00～16：30	平成 31 年 2 月 2 日（土） 10：00～12：30
場所	八王子市役所	郷土資料館	郷土資料館	八王子市役所	八王子市役所	富士森体育館
参加者	旧八王子地区 8 名 恩方地区　9 名	川口地区　9 名 由井地区　9 名	浅川地区　13 名 由木地区　8 名	元八王子地区 9 名 加住地区　9 名	小宮地区　8 名 横山地区　10 名	52 名

■ワークショップの流れ

地区別ワークショップ

参加者の決定	事前アンケート	事前ヒアリング	ワークショップ当日			
			地域のお宝について発表！ ●事前アンケート結果の発表 ●依頼した方による発表	大切にしたい・未来に残していきたいお宝発掘 ●グループワークによる資源の発掘、共有	もっと愛してもらうために自分たちにできることは？ ●グループワークによる意見交換	事後アンケートの実施
●町会関係者 ●公募 ●大学生	参加者全員に対し、「これまで大切にしてきたもの」や「未来に残していきたいもの」をアンケート	ワークショップ当日に、自分が大切にしているものを発表していただく方に依頼し、ヒアリング				

↓

全体会

●事前アンケートの実施

地区別ワークショップ開催前に、参加者に対し、大切にしたい・未来に残していきたい地域のお宝についてアンケートを実施しました。

●事前ヒアリングの実施

地区別ワークショップ開催前に、各地区の歴史文化に詳しい市民にヒアリングを実施し、地域のお宝に対する思いなどを聴きました。

●地区別ワークショップの開催

市内各地区で大切にされている歴史文化資源について、同じ地区の方との情報共有や、他地区の方との意見交換を通じて、未来に残していきたいという思いで日々の暮らしの中で大切にされている歴史文化資源の掘り起こしをしました。

また、地区の特徴や魅力を再認識し、歴史文化資源を次代へ継承するための活用方法等、その魅力の「伝え方」について話し合いました。

さらに、市内の大学に通っているものの、八王子のことをあまり知らない学生に対し、地域の方が歴史文化資源や地区の魅力を伝えると同時に、学生にはそれらを広く伝えるための「伝え方」についての提案をしてもらいました。

地区別ワークショップ・全体会での様子

ワークショップで挙げられた未来に残したい資源

地区名	大切にしたい・未来に残していきたい資源
旧八王子	イチョウ並木／学園都市八王子に貢献した人物／上地区・下地区の祭り／子安神社と祭礼／八幡八雲神社・市守神社／千人同心・千人隊／鎌倉街道・絹の道など古道／京王御陵線の橋脚跡／子安町にある多数の橋／松姫の歴史と信松院／大久保長安／八王子織物組合による絹織物伝承／八王子芸妓と中町黒塀の景観／八王子三業組合・八王子芸妓組合／泉町、横川町の湧水／船田の一本杉　　等
小宮	石川町龍頭の舞・漆塗りの獅子／小宮公園のアオゲラ（野鳥）／第八小学校の桜／平の渡しにまつわる言い伝え・昔話／旧日光街道・古甲州道／高倉大根など農作物／屋号／富士山の眺望／谷地川／どんど焼き／伝統行事（お七夜、お日待ち、顔見せ）、七氏七明神、天竺田、石川の渋柿／徳川家康の宝貨・軍扇／昔の地名「粟の須」／用水路／神明社（二基の板碑）　　等
横山	長房日光神社と納涼祭／廣園寺／多摩御陵（武蔵陵墓地）のケヤキ並木／京王御陵線／小学校にある門柱／庚申塔／長房団地の盆踊り／八王子いちょう祭り／長房ふれあい端午まつり／めじろ台祭り／廿里古戦場や下原刀などの戦国時代の名残／旧陸軍幼年学校跡／競馬場の歴史と馬頭観音／万葉公園／殿入公園の自然／鎌倉街道／縄文時代の遺跡／石平道人の草庵跡／狭間の獅子舞／高尾みころも霊堂　　等
元八王子	八王子城跡／月夜峰などの湧水／北條氏照の歌など八王子城に関する歌／浅川を歌いこんだ小学校歌／北條氏照まつり／石造物・地蔵・庚申塚／八幡神社／宅地と自然の共存／諏訪神社のホウノキと祭り／カジカなど川魚／探究心の強い人が多い土地柄／虫の音・自然・夕焼け／四谷の獅子舞／水無瀬橋から見える風景／元八王子という地名／地域の文化財・史跡のマップ　　等
恩方	小津の獅子舞とその継承／小津再生に取り組む NPO 法人の活動（古民家再生、イベント開催等）／モリアオガエルの道／八王子車人形／昔の地名マップ／きだみのるが記した恩方の暮らし／ユーモアがあり寛容な土地柄／どんど焼き／ホタル／案下道（佐野川往還）などの古道と沿道風景／童謡「夕焼小焼」／宮尾神社／古くから由緒ある寺社／自然や古い建物／新城（浄福寺城）　　等
川口	今熊神社の獅子舞・田守神社の獅子舞・山入の篳獅子舞や子ども獅子舞など伝統行事／今熊山・今熊神社／上川の里の風景／田守神社の裏の風景／豊かな自然と保全活動／上川センターまつりなど活発な仲間づくりの活動／宗兵衛裸麦・川口エンドウなど伝統野菜／地区の地名／千人同心／私擬憲法／繭玉／子抱き土偶／浅川渓谷と地層／川口兵庫介館趾碑と大般若経／川口郷の名／泡漬け　等
加住	谷地川など緑豊かな里山／若松神社と祭礼／地域に残る講／日常的に聞こえる野鳥の鳴き声／梅坪の篳獅子舞／高月の桑／圓通寺のしだれ桜／そば畑／都内初の道の駅／滝山城跡・根小屋城跡・高月城跡・左入城跡（伝承）／滝山城時代の氏照つながりネットワーク／どんど焼き／高月・滝の集落／福の神・山の神／古甲州道／乗馬クラブ／高月町の田園風景／湧水／ホタル　　等
由井	道了堂跡・七国峠からの眺望／城定一知などの文化人／片倉城跡／片倉城跡公園の北村西望などの彫刻／稲荷神社の欄間彫刻／絹の道資料館／生糸商人の屋敷跡／縄文時代の遺跡／住吉神社の算学／みがき砂採掘跡／熊野神社／白山神社／復活したどんど焼き／野猿峠／炭焼き／「市歌」「夕焼小焼」などの歌／小比企町の農地／磯沼牧場／みなみ野冬のイルミネーション　　等
浅川	高尾山とその自然／火渡り／天狗／稚児行列／高尾 599 ミュージアム／四季折々のイチョウ並木・小仏川のホタル／ホタル復活の取組／各町会の小さい神社・地蔵・祭り／地域の人がつくった幼児園／峯の薬師／小仏関跡と愛宕地蔵尊まつり／レンガのアーチ橋／小下沢・日影沢／みころも公園と菅原道真公像／浅川地区市民大運動会／裏高尾梅林／民話・伝承／石碑・石仏　　等
由木	浜街道（絹の道）・鎌倉街道／小泉家屋敷など昔の暮らし方が残る屋敷／里山の風景／キンラン・ギンラン／古くから人が住んできた歴史／地蔵・石仏／ホタルのビオトープ／保井寺・永林寺・清鏡寺・金住院／八幡神社・白山神社などの寺社／ 700 年前からの過去帳／親水公園／白山神社「経筒」／生まれ変わりの勝五郎の話／牛魂碑／公園・緑地／近隣大学との交流／多摩ニュータウンの歴史と文化遺産／大栗川キャンドルリバー　　等

※地区別ワークショップで挙げられた資源を掲載（他地区の資源の掲載あり）

●全体会ワークショップの開催

地区別ワークショップに参加した学生が、参加後に考えたことや行動したことを発表するとともに、参加者全員で市民が大切に思い、未来に残していきたい地域の歴史文化資源を挙げ、自分たちが大切に思う資源をどのようにわかりやすく伝える

か、どのように活用するかについて話し合いました。

また、他地域の事例を踏まえて、これからやってみたいことや取り組みたいこと、歴史文化資源を活用する上で大事にしたいことについて、意見交換をしました。

◎歴史文化資源を活用する上で大事にしたいこと（ワークショップで挙がった意見）

■資源の発掘と情報の一元化

社会構造の変化により、消失しつつある資源や記憶を調査し、記録していくことが必要である。また、どんど焼きの復活、ホタルの再生など地域が主体となって伝統を復活させる取組は、市内外の関心を高める手応えがあると考える。

地域の歴史文化資源をマップ化・コース化する動きやニーズは、どの地区においても着手しやすい活動例といえるが、個別にマップ化しても利用しにくいといった懸念がある。統一感をもたせるため、各地区の郷土史や市のホームページなどで情報発信していく必要がある。

■みんなに気づいてもらえる情報発信

定期的に実施している伝統芸能に関する写真や映像、用具などを既存施設に常設展示し、いつでも情報に触れられるようにすることや、SNS などを活用し、リアルタイムで若い世代が目にする機会を増やすなど、情報発信の方法を工夫する。また、標識や看板などを目に付くところに設置することも必要である。

■手法を工夫する

伝統芸能は、特定の人しか参加できない場合もあるが、担い手の負担も大きく存続が危惧されている。伝統を厳格に継承することもとても重要であるが、時代とともに柔軟に対応しながら継承していくことも考えなくてはならない。

■人づくりが必要

町会、シニアクラブ、子ども会などの既存組織が連携し、意見交換の機会を積極的に設けることで、新しい気づきや地域の歴史文化資源を大切に思う気持ちを育むことができる。また、残していきたい伝統行事を積極的に開催していくことにより、その技能を継承する。

■関係づくりが必要

小・中学校の授業で八王子の歴史文化を題材とする授業を積極的に取り入れ、調べ学習や自由研究のテーマにしたり、地域活動を学校行事の中に組み込んだりするなど、地域と学校の連携体制を整える。また、大学生にも地域活動に参加してもらい、人と人のつながりをもつ。

■活動場所の設置

身近な場所に市民が気軽に集まり情報交換したり、歴史文化について詳しい人が常駐している、雰囲気のよいおしゃれな古民家カフェのような場所（サードプレイス）があるといい。

◎歴史文化資源の継承に関する取組事例（ワークショップで紹介された事例等）

歴史文化に関する地域マップづくり

市民への生涯学習啓発のため、NPO 法人八王子生涯学習コーディネーター会が「八王子生涯学習総合マップ」を作成しました。「学習施設」「文化財」「史跡・旧跡・遺跡」「水と緑」「戦禍・戦跡」の 5 種類のマップがあります。

川口エンドウの復活

川口地区周辺で作られていたキヌサヤエンドウの在来品種です。畑の宅地化や収穫の手間などの理由から急速に姿を消しましたが、生産者を中心に「普及プロジェクト」が発足されています。市内の一部の小学校でも、栽培授業が行われています。

里山と古民家の再生

恩方地区では、NPO 法人小津倶楽部が自然環境や営農環境の保全を通して、地域交流の拠点づくりに取り組んでいます。さらに、地域の豊かな自然や暮らしなどを体験学習する「小津カレッジ」を開講し、地域の内外を問わず、活性化につながる活動を展開しています。

里山の景観と環境の保全

長池公園では、公園美化を通した里山保全の活動として、園内に残る里山の景観や植生の回復、動植物の保全活動を、公園スタッフと一緒に体験できる「里山保全隊」や、土曜日を活動日とした「サタデーパークボランティア」などの取組を行っています。

長房ふれあい端午まつり

地域住民が主体となって、運営しています。寄付された約 1000 匹の色とりどりのこいのぼりや、近隣の園児らが作成した可愛らしいこいのぼりが、毎年南浅川の空を泳ぎ、初夏の風物詩となっています。

大栗川キャンドルリバー

由木村と八王子市の合併 50 周年を記念して平成 27 年（2015 年）から開催している例年イベントです。地域住民の交流のきっかけづくりを目的として、市民団体が企画・開催しているイベントで、幅広い世代の人々の交流が続いています。

今熊神社の獅子舞

男子が継承してきた獅子舞の舞い手を、性別に関わらず参加できるようにして、担い手の裾野を広げることで、地域の伝統芸能を大切に継承しています。

文化財の防火訓練

「文化財防火デー」にちなみ、毎年 1 月 26 日を中心に、文化庁、消防庁、都・市教育委員会、消防署、文化財所有者、地域住民等が連携・協力して、文化財防火運動を展開しています。

※写真は永林寺の訓練の様子

学校給食

八王子の歴史文化にちなんだ「桑都御膳」などの献立を考案し、献立に関連する歴史文化を「食育メモ」として学級で紹介することで、子どもたちの郷土への誇りと愛着を育んでいます。

八王子かるた

郷土資料館のガイドボランティア有志によるかるた会が作成した郷土かるたです。子どもにも分かりやすく、かるたで遊びながら八王子の歴史や文化を学ぶことができます。郷土資料館では、八王子かるたを使った体験イベントも開催しています。

湧水案内サイン

平成 15 年（2003 年）発表の「東京の名湧水 57 選」にも選ばれた市内 5 か所を含む、市街地周辺の 8 つの湧水周辺に、マンホール蓋や矢羽型の案内サインを設置しています。

千人同心をモチーフにした標識

千人同心が使用していた陣笠や「千」の字がデザインされている標識や車止めなどが、千人同心ゆかりのまち千人町周辺に設置されています。

5. 歴史文化資源の種類とデータベースの構築

歴史文化資源の総合的把握を通して、9000 件近い地域の歴史文化資源をデータベース化しました。このデータベースは、これまでの研究成果や本構想策定に当たって実施したアンケートや聞き取り調査などで把握したものです。

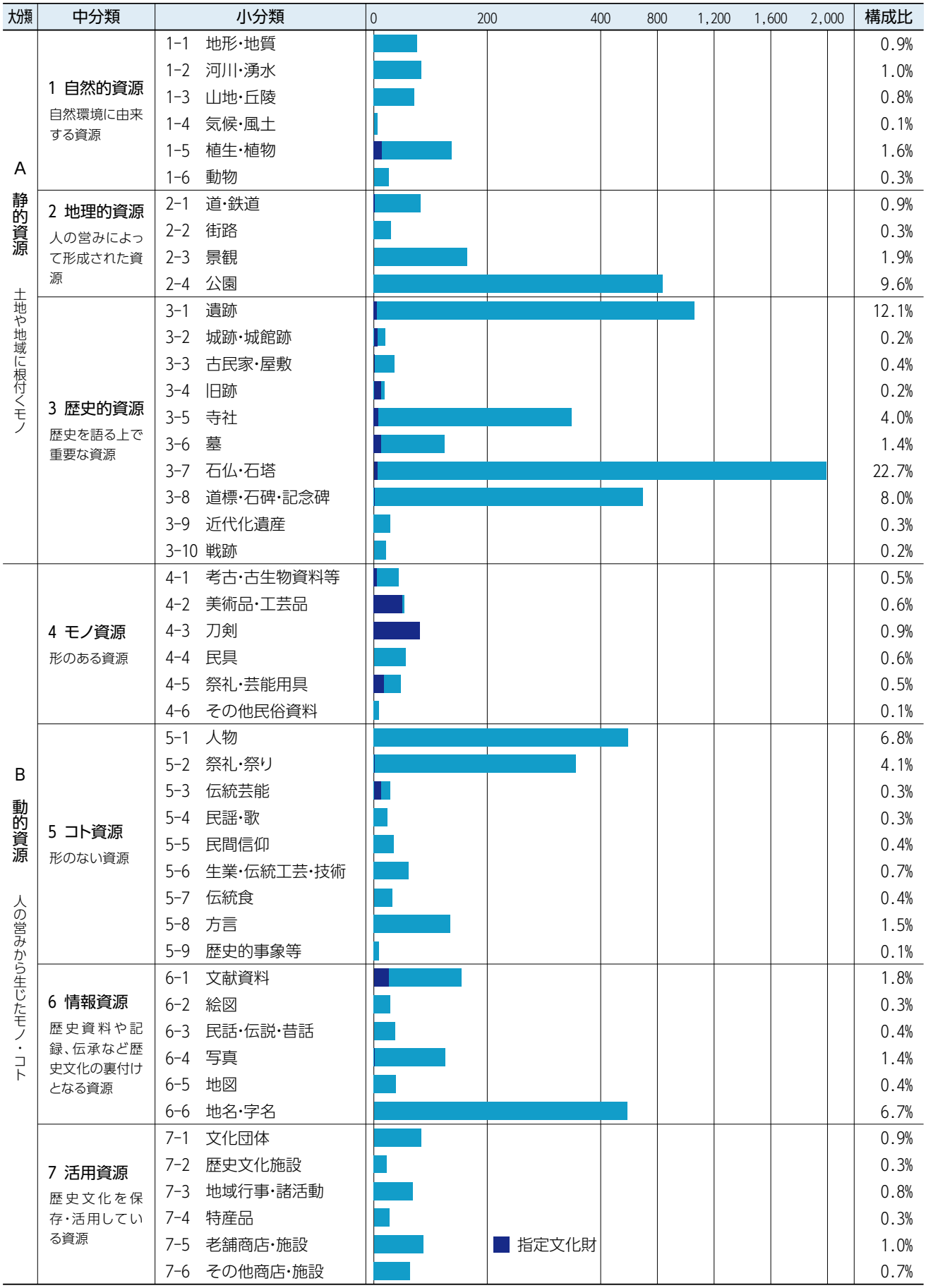
データベースでは、把握した資源を本章１（2）の分類に分けて、その分類を類型ごとに以下のようにまとめて定義しました。

●静的資源：土地や地域に根付くモノ
　├自然的資源：自然環境に由来する資源
　├地理的資源：人の営みによって形成された資源
　└歴史的資源：歴史を語る上で重要な資源
●動的資源：人の営みから生じたモノ・コト
　├モノ資源：形のある資源
　├コト資源：形のない資源
　├情報資源：歴史資料や記録、伝承など歴史文化の裏付けとなる資源
　└活用資源：歴史文化を保存・活用している資源

これを踏まえて資源数を集計すると、歴史的資源が非常に多く、コト資源、地理的資源、情報資源がそれに続きます。小分類別にみると、石仏・石塔や道標・石碑・記念碑といった石造物が突出して多いことがわかります。また、遺跡や公園、地名・字名も多く、広い市域に古くから広範にわたって人々が生活した痕跡が残り、人々が行き交う道も数多くあったことが想像できます。

このデータベースは、現段階で把握した資源を基に作成したもので、市域の歴史文化資源を網羅しているわけではありません。今後も調査・研究を継続しながら、歴史文化資源の把握に努め、文化財の保存・活用に資するため引き続きデータベースを更新し、公開していきます。

歴史文化資源の分類別傾向



まちの記憶 4

うじてるくん

八王子城跡が平成18年（2006年）4月に「日本100名城」に選定されたことを受け、本市文化財課職員がデザインしたキャラクターの“うじてるくん”。八王子のまちづくりの礎を築いた戦国時代の名将、八王子城主北条氏照をモチーフにしています。彼の肖像画は残されていませんが、北条家の軍事・外交面で活躍した氏照に親しみをもてるように、鎧兜を着用し、北条氏の家紋である「三つ鱗」を入れた陣羽織を羽織った、愛嬌のあるキャラクターにしました。八王子城跡のオフィシャルガイドボランティアが中心となった「NPO法人八王子城跡三ッ鱗会」の皆さんによって着ぐるみも製作されました。

“うじてるくん”は、八王子城跡ガイダンス施設でのイベントや「元八王子北條氏照まつり」などでも活躍しています。市内のイベントで見かけたら、ぜひ声をかけてください。

「子ども手作り甲冑教室」の参加者と

まちの記憶 5

大善寺のお十夜

大善寺は天正13年（1585年）、滝山城下に開山し、観池山往生院大善寺と号しました。

その後、慈根寺村（元八王子町）に移りましたが八王子城落城後、大横町に移転し、関東十八檀林の一つともなりました。

お十夜は、八王子城の落城の際の戦死者供養のため、天正19年（1591年）に始まったと伝えられています。

もともとは寺の十夜法要という宗教行事の一つでしたが、江戸時代末期になると、関東随一の十夜法要となって近隣の村々にも知られるようになり、さらに、明治時代末ごろから縁日が行われるようになり、昭和に入りサーカスなどでもにぎわいました。八王子や近在の人々にとって、一年の中でも特別な催し物の日でもありました。

しかし、昭和36年（1961年）の大和田町への移転によって、十夜法要と縁日は行われなくなり、その後、昭和56年（1981年）に現在の大谷町に移転しました。

昭和58年（1983年）に十夜法要のみが復活し、その後、平成24年（2012年）になって「八王子お十夜実行委員会」が組織され、縁日を取り入れた大善寺のお十夜が、大横町からの移転以来約50年ぶりに行われ、以降毎年催されています。

昭和5年（1930年）のお十夜の光景